

名誉会員候補者推薦について

日本分析化学会は、名誉会員推薦基準③項及び名誉会員推薦手続内規3項により、名誉会員候補者の推薦を受け付けております。日本分析化学会会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規定を参照のうえ、2024年10月末日までに所属支部長にお申し出ください。また、支部長は2024年12月末日までに会長（本部）まで推薦してください。

『名誉会員推薦基準』

- ① 前・元会長で65歳以上（4月1日現在）の者
- ② 分析化学に関する業績により、国内又は国際的な最高の栄誉（ノーベル賞・文化勲章・学士院賞など）を授けられ、かつ本会への功績のあった者
- ③ ①、②に準ずる学問的業績及び本会への功績があり、70歳以上（4月1日現在）の者

『名誉会員推薦手続内規』

（推薦基準①の場合）

1. 会長経験者が65歳（4月1日現在）に達する場合、会長は毎年度第1回理事会（3月）において名誉会員に推薦する。但し、現職会長の場合は、次期会長がこれを推薦する。

（推薦基準②の場合）

2. 会員が、ノーベル賞、文化勲章、学士院賞を受賞したとき及び文化功労者に選定されたときは、会長は随時名誉会員推薦委員会を開催し、名誉会員に推薦することができる。
3. 名誉会員推薦基準③の場合は、次の手順による。
 - 1) 名誉会員は、2013年から2年ごとに推薦する。
 - 2) 会長は、名誉会員推戴時前年7月に、機関誌「ぶんせき」に推薦依頼の会告を行う。
 - 3) 正会員は、所属各支部長に名誉会員推薦基準に基づき名誉会員候補者を推薦する。なお、推薦する名誉会員候補者は、当該支部所属の正会員に限定せず、全国的視野において推薦するものとする。
 - 4) 支部長は、推薦された名誉会員候補者について支部内で十分検討した後、12月末日までに会長に推薦する。
 - 5) 会長は、理事会内に名誉会員推薦委員会を設け、各支部長から推薦された名誉会員候補者を名誉会員推薦基準に合わせて審議し、通常総会に諮る名誉会員候補者を選定する。
 - 6) 名誉会員推薦委員会は、会長、次期会長、副会長5名、の計7名で構成し、会長が議長を務める。なお、名誉会員推薦委員会構成者は、各支部長に名誉会員候補者を推薦することはできない。
 - 7) 外国人推薦の場合も、原則としてこれに準ずる。

<以下省略>

〔注記〕

- a. 所定の名誉会員候補者推薦書を入用の場合、下記支部宛または本部総務課宛お申し出ください。
- b. 支部への推薦書提出期限：2024年10月末日

☆ ☆

【推薦書類提出先】

北海道支部：〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院内
東北支部：〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学大学院薬学研究科臨床分析化学分野
関東支部：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 (公社)日本分析化学会内
中部支部：〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-35-18 中部科学技術センター内
近畿支部：〒550-0004 大阪府大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センター内
中国四国支部：〒739-8526 広島県東広島市鏡山1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科分析化学研究室内
九州支部：〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 九州大学大学院工学研究院

【問合先】

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
公益社団法人日本分析化学会総務課 e-mail: shomu@jsac.or.jp, shomu2@jsac.or.jp

2025 年度学会賞・学会功労賞・奨励賞・ 女性 Analyst 賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2025 年度の学会賞・学会功労賞・奨励賞・女性 Analyst 賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

日本分析化学会会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規程を参照のうえ、10 月末日までに所属支部の学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞・女性 Analyst 賞候補者推薦委員会あてに、推薦理由書 [A4 判（縦に使用）用紙に 1,200 字以内] に文献リストと候補者の略歴を添えて、文書及び電子ファイルの双方にて、お申し出ください。

『学 会 賞 規 程』

- 第 1 条 本会に学会賞（以下本賞という）を設け、本会の正会員にして分析化学に関する貴重な研究をなし、その業績を本会論文誌およびその他の論文誌に発表した者の中から、特に優秀なる者にこれを贈呈する。ただし、学会功労賞受賞者および技術功績賞受賞者は受賞できない。また、同一年度の学会功労賞および技術功績賞の受賞候補者となることはできない。
- 第 2 条 本賞の贈呈は、毎年 3 件以内とする。
- 第 3 条 本賞は、賞状および賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第 4 条 本賞を受けた者は、年会において学会賞受賞講演を行う。
- 第 5 条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7 号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第 6 条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会（以下支部推薦委員会という）を設ける。
- 第 7 条 会員は、その所属する支部推薦委員会に 10 月末日までに候補者を推薦することができる。
- 第 8 条 候補者の推薦にあたっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。
- <以下省略>

『学 会 功 労 賞 規 程』

- 第 1 条 本会に学会功労賞（以下本賞という）を設け、本会の正会員にして日本分析化学会および分析化学の発展に多大な貢献をなした者で、受賞の年の 1 月 1 日現在、30 年間以上引き続き本会会員であり、満 55 歳以上の者にこれを贈呈する。ただし、学会賞受賞者および技術功績賞受賞者は受賞できない。また、同一年度の学会賞および技術功績賞の受賞候補者となることはできない。
- 第 2 条 本賞の贈呈は、毎年 5 件以内とする。
- 第 3 条 本賞は、賞状および賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第 4 条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7 号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第 5 条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会（以下支部推薦委員会という）を設ける。
- 第 6 条 会員は、その所属する支部推薦委員会に 10 月末日までに候補者を推薦することができる。
- 第 7 条 候補者の推薦にあたっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。
- <以下省略>

[注記] 学会功労賞は、次のような業績が対象となります。

- (1) 本会の発展に対する功績、(2) 分析化学の教育における功績、(3) 分析化学の国際交流における功績、(4) 本会の本部・支部の役員としての功績、(5) 本会の各種委員会・研究懇談会における功績、(7) 本会の本部・支部事業等における功績、(8) その他分析化学による社会的功績

『奨 励 賞 規 程』

- 第 1 条 本会に奨励賞（以下本賞という）を設け、本会の正会員にして受賞選考の時期までになされた分析化学に

お知らせ

関する研究が独創的であり、将来を期待させる研究者で、受賞の年の4月1日現在で満38歳以下の者に、女性もしくは企業に所属する者については受賞の年の4月1日現在で満45歳以下の者に贈呈する。

- ② 研究業績は、本会論文誌またはその他の論文誌、および特許等の知的財産を対象とし、いずれも公表されたものでなければならない。
- ③ 受賞の基礎となる研究業績が共同研究の場合は、主たる研究者について適用する。
- ④ 学会賞、学会功労賞、技術功績賞受賞者は、受賞できない。また、同一年度の学会賞、学会功労賞、技術功績賞の受賞候補者となることはできない。女性Analyst賞と同一内容で応募することはできない。

第2条 本賞は、毎年5件以内とする。ただし、大学および公的研究機関に所属する者については4件以内とする。1件以上は企業に所属するものに授与することが望ましい。

第3条 本賞は、賞状および賞牌とし、年会において贈呈する。

第4条 本賞を受けた者は、年会において奨励賞受賞講演を行うほか、本会論文誌「分析化学」に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない。

第5条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。

第6条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会（以下支部推薦委員会という）を設ける。

第7条 会員は、その所属する支部推薦委員会に10月末日までに候補者を推薦することができる。

第8条 候補者の推薦にあたっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。

<以下省略>

『女性Analyst賞規程』

第1条 本会に女性Analyst賞（以下本賞という）を設け、本会会員、非会員にかかわらず、分析化学に関する優秀な業績をあげた女性研究者、女性技術開発者あるいは女性企業経営者に、これを贈呈する。ただし、学会賞、学会功労賞、技術功績賞受賞者は、受賞できない。また、同一年度の学会賞、学会功労賞及び技術功績賞の受賞候補者となることはできない。奨励賞と同一内容で応募することはできない。

第2条 本賞の贈呈は原則として毎年2件以内とする。

第3条 本賞は賞状および賞牌とし、年会において贈呈する。

第4条 本賞を受けた者は、年会において女性Analyst賞受賞講演を行うほか、本会論文誌「分析化学」に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない。

第5条 会長は、各支部長、研究懇談会委員長並びに本会女性研究者ネットワークに推薦を依頼する。

第6条 推薦者は、1月末日までに推薦書、推薦理由書、履歴書及び説明資料を会長に提出する。

第7条 本賞候補者の選考は、女性Analyst賞審査委員会（以下審査委員会という）において行う。

<以下省略>

2025年度技術功績賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2025年度の技術功績賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

日本分析化学会会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規程を参照のうえ、所属支部長または団体会員（維持会員、特別会員及び公益会員）代表者にお申し出ください。

『技術功績賞規程』

第1条 本会に技術功績賞（以下本賞という）を設け、本会会員にして分析技術の向上、あるいは、分析技術による社会的貢献に関し、業績の著しい者の中から、特に優秀なる者にこれを贈呈する。本賞は、本会正会員を中心とするグループに贈呈することもできる。ただし、学会賞受賞者および学会功労賞受賞者は受賞できない。また、同一年度の学会賞および学会功労賞の受賞候補者となることはできない。

第2条 本賞の贈呈は、毎年3件以内とする。

第3条 本賞は、賞状および賞牌とし、年会において贈呈する。

第4条 本賞を受けた者（グループにおいてはその中心になる者）は、年会において技術功績賞受賞講演を行うほ

お知らせ

か、本会論文誌「分析化学」に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない。

第5条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。

第6条 会員は、候補者を所属支部の支部長または団体会員代表者に推薦することができる。

第7条 支部長または団体会員（維持会員、特別会員及び公益会員）代表者は、候補者を会長に推薦する。

第8条 候補者の推薦に際しては、次の書類を1月末日までに会長に提出する。

a) 推薦書 [所定の用紙], b) 推薦理由書 [A4判用紙を縦(1行45字×40行)に使用し、本文及び業績リスト(主要なもの)はそれぞれ2頁以内で作成すること], c) 被推薦者履歴書 [所定の用紙], d) 説明資料 [特に重要な報告の別刷など審査の参考となる資料]

<以下省略>

[注記]

- 1) 推薦書の団体会員代表者は、本会に登録されている代表者名を記入してください(代表者を変更される場合は、あらかじめ変更届を提出してください)。
- 2) 所定の推薦書類を入用の場合は、返信用封筒(切手120円添付)を同封のうえ、下記技術功績賞係あてにお申し出ください。なお、電子ファイルをご希望の場合は shomu@jsac.or.jp へご連絡ください。
- 3) 推薦書類提出期限: 2025年1月末日(郵送の場合は、当日消印のあるものまで受理します)。なお、推薦理由書が規程(上記第8条b)の書式、枚数)に従っていない場合は受理しません。
- 4) 推薦書類提出先: 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 公益社団法人日本分析化学会技術功績賞係 [電話: 03-3490-3351]

2025年度先端分析技術賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2025年度先端分析技術賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

標記候補者の推薦を希望される方は下記の規程を参照のうえ、10月末日までに日本分析化学会のいずれかの支部の支部長、研究懇談会の委員長、または(一社)日本分析機器工業会専務理事(JAIMA 機器開発賞)あてにお申し出ください。

『先端分析技術賞規程』

第1条 本会に先端分析技術賞(以下、本賞という)を設け、先端的分析技術開発(機器開発、分析・評価技術開発、分析用新規物質の開発、など)や実用化において、優秀なる業績と展開性を示した個人あるいはグループにこれを贈呈する。

第2条 本賞は、(一社)日本分析機器工業会(以下JAIMAという)のスポンサーシップによるJAIMA 機器開発賞によって構成される。

第3条 本賞は、毎年2件以内とする。

第4条 本賞は、賞状、賞牌及び副賞とする。

第5条 本賞を受けた者は、受賞記念講演を行うほか、本会論文誌「分析化学」に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない。

第6条 本会会長は、毎年会誌「ぶんせき」7号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載するとともにJAIMA 機関誌夏号に掲載を依頼する。

第7条 本賞への応募者は自薦・他薦を問わず、本会支部長、本会研究懇談会委員長またはJAIMA 専務理事あてに必要な書類を定められた期日までに提出する。

第8条 支部長、研究懇談会委員長またはJAIMA 専務理事は、候補者を会長に推薦する。

第9条 候補者の推薦に際しては、次の書類を1月末日までに会長に提出する。

a) 推薦書 [所定の用紙], b) 推薦理由書 [A4判用紙を縦(1行45字×40行)に使用し、本文及び業績リスト(主要なもの)はそれぞれ2頁以内で作成すること], c) 被推薦者履歴書 [所定の用紙], d) 説明資料 [特に重要な報告の別刷など審査の参考となる資料]

<以下省略>

☆ ☆

お知らせ

【照会先】支部の推薦委員会並びに研究懇談会宛先は下記のとおりです。

- 北海道支部 : 〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院内
jsac-hb@w9.dion.ne.jp
- 東北支部 : 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学大学院薬学研究科臨床分析化学分野
kosuke.ino@tohoku.ac.jp
- 関東支部 : 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 (公社)日本分析化学会
内
jsac-kanto@jsac.or.jp
- 中部支部 : 〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-35-18 中部科学技術センター内
bunseki@cstc.or.jp
- 近畿支部 : 〒550-0004 大阪府大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センター内
mail@bunkin.org
- 中国四国支部 : 〒739-8526 広島県東広島市鏡山1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科分析化学研究室
内
ishizaka@hiroshima-u.ac.jp
- 九州支部 : 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 九州大学大学院工学研究院
jsac_kyushu@jsac.jp

研究懇談会

- 液体クロマトグラフィー : nakamura@jsac.or.jp
- ガスクロマトグラフィー : satoh@niu.ac.jp
- 高分子分析 : infopacd@pacd.jp
- X線分析 : shigeo.sato.ar@vc.ibaraki.ac.jp
- 化学センサー : hisamoto@omu.ac.jp
- 有機微量分析 : orgmicro@jsac.jp
- 分析試薬 : iki@tohoku.ac.jp
- 電気泳動分析 : yishiham@pharm.kyoto-u.ac.jp
- イオンクロマトグラフィー : ic@jsac.jp
- フローインジェクション分析 : jafia@jsac.jp
- 環境分析 : kumata@ls.toyaku.ac.jp
- 表示・起源分析技術 : kigen@jsac.jp
- 熱分析 : y24moto@kanagawa-u.ac.jp
- 化学分析技能 : koguma@faculty.chiba-u.jp
- 溶液反応化学 : yumesc@chem.sc.niigata-u.ac.jp
- 電気分析化学 : maedak@kit.ac.jp
- ナノ・マイクロ化学分析 : tokeshi@eng.hokudai.ac.jp
- バイオ分析 : info_bioanalysis@yoshimotolab.c.u-tokyo.ac.jp
- スクリーニング分析 : scr-info@jsac.jp

(一社)日本分析機器工業会専務理事宛先

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5-16 名古屋ビル新館6階

第 60 回 X 線分析討論会

主催 (公社)日本分析化学会 X 線分析研究懇談会
期日 2024 年 10 月 31 日 (木)・11 月 1 日 (金)
会場 (一財)高知県教育会館高知城ホール〔高知県高知市丸ノ内 2-1-10〕
討論主題 次の 6 点に関係する発表を募集する。
(1) 社会問題を解決するための X 線分析
(2) X 線分析と各種分析技術の融合による先端科学への応用
(3) X 線要素機器の開発と X 線分析への展開
(4) X 線イメージングおよび顕微解析
(5) X 線吸収分光と電子分光 (XAFS, EELS)
(6) 表面分析 (XPS, TXRF 等), その他
講演申込期間 7 月 1 日 (月)~8 月 7 日 (水)
・講演内容は未発表のものに限ります。
講演要旨受付期間 9 月 6 日 (金)~10 月 4 日 (金)
事前参加申込期間 9 月 6 日 (金)~10 月 4 日 (金)
参加登録料
一般事前 4,500 円 (会員*), 5,500 円 (非会員)
一般当日 6,000 円 (会員*), 7,000 円 (非会員)
学生事前 2,000 円, 学生当日 3,000 円
(*協賛学会員を含む)
詳細については、討論会 Web サイト
<https://xbun.jsac.jp/conference/no60.html> をご覧ください。
連絡先 〒780-8520 高知県高知市曙町 2-5-1 高知大学教
育学部 西脇芳典
〔電話: 088-844-8462, E-mail: xbun60@kochi-u.ac.jp〕

—以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

熱測定講習会 2024

主催 日本熱測定学会
期日 オンライン講義: 2024 年 7 月 19 日 (金)/対面実習: 8 月 27 日 (火)
会場 8/27 実習会場: 東京理科大学神楽坂キャンパス 6 号館 4 階理科実験室
ホームページ <https://www.netsu.org/2024lecture/>
連絡先 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-15-9 須磨マンション 901 日本熱測定学会事務局 土信田裕子
〔電話: 03-6310-6831, E-mail: netsu@mbd.nifty.com〕

表面分析実践講座 2024

実践!最新走査電子顕微鏡実習
実際の作業を通して身につける最新技術

主催 (公社)日本表面真空学会
期日 2024 年 8 月 8 日 (木)・9 日 (金)
会場 日本電子(株)開発館
ホームページ
<https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/detail.php?eid=00020>
連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル
5 階 (公社)日本表面真空学会事務局
〔電話: 03-3812-0266, E-mail: office@jvss.jp〕

第 61 回 (2024 年度) 真空夏季大学

主催 (公社)日本表面真空学会
期日 2024 年 8 月 27 日 (火)~30 日 (金)
会場 八王子市生涯学習センター
ホームページ
<https://www.jvss.jp/jpn/activities/16/detail.php?eid=00023>
連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル
5 階 (公社)日本表面真空学会事務局
〔電話: 03-3812-0266, E-mail: office@jvss.jp〕

第 27 回 XAFS 討論会

主催 日本 XAFS 研究会
期日 2024 年 9 月 2 日 (月)~4 日 (水)
会場 東京都立大学南大沢キャンパス講堂小ホール
ホームページ
<https://www.jxafs.org/conference/jxafs27/>
連絡先 〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1 東京都立
大学南大沢キャンパス 第 27 回 XAFS 討論会実行委員会
〔電話: 042-677-2553, E-mail: jxafs27@gmail.com〕

SPring-8 シンポジウム 2024 SDGs 実現に向けた放射光・FEL

主催 SPRing-8 ユーザー協団体 (SPRUC)
期日 2024年9月5日(木)・6日(金)
会場 九州大学医学部百年講堂大ホール・中ホール
ホームページ
<http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2024/sp8sympo2024>
連絡先 〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1
SPring-8 ユーザー協団体 (SPRUC) 事務局 古川美奈
〔電話：0791-58-0970, E-mail：users@spring8.or.jp〕

2024年度日本地球化学会第71回年会

主催 (一社)日本地球化学会
期日 2024年9月18日(水)～20日(金)
会場 金沢大学角間キャンパス (自然科学本館)
ホームページ <http://www.geochem.jp/meeting/>
連絡先 〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学 2024
年度日本地球化学会実行委員会 委員長 長尾誠也
〔E-mail：fukushi@staff.kanazawa-u.ac.jp〕

VACUUM2024 真空展 Vacuum Technology for innovation

主催 (一社)日本真空工業会, (公社)日本表面真空学会, 日刊工業新聞社
期日 2024年9月18日(水)～20日(金)
会場 東京ビッグサイト東ホール
ホームページ
<https://biz.nikkan.co.jp/eve/vacuum/>
連絡先 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 日刊工業新聞社イベント事業部
〔電話：03-5644-7221, E-mail：autumnfair@nikkan.tech〕

第10回材料WEEK

主催 (公社)日本材料学会
期日 2024年10月8日(火)～10日(木)
会場 京都テルサ
ホームページ <http://www.jsms.jp>
連絡先 〒606-8301 京都府京都市左京区吉田泉殿町1-101
(公社)日本材料学会
〔電話：075-761-5321, E-mail：jimu@office.jsms.jp〕

第40回近赤外フォーラム

主催 近赤外研究会
期日 2024年11月13日(水)～15日(金)
会場 東京大学弥生講堂
ホームページ <https://jcnirs.org/NIR2024>
連絡先 〒305-8642 茨城県つくば市観音台2-1-12 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門分析評価

ループ内 近赤外研究会事務局 池羽田晶文
〔電話：029-838-8057, E-mail：office@jcnirs.org〕

第70回ポーラログラフィーおよび 電気分析化学討論会 The International Meeting of the Polarographic Society of Japan

主催 日本ポーラログラフ学会
期日 2024年11月16日(土)・17日(日)
会場 京都大学農学部総合館
ホームページ <http://www.polaro.jp/index.html>
連絡先 〒606-8502 京都府京都市左京区 京都大学農学部
2号館2階206号室 日本ポーラログラフ学会事務局 討論
会理事 白井 理 〔電話：075-753-6392, E-mail：shirai.
osamu.3x@kyoto-u.ac.jp〕

第15回アジア化学センサ国際会議 (ACCS 2024) The 15th Asian Conference on Chemical Sensors (ACCS 2024)

主催 第15回アジア化学センサ国際会議組織委員会
期日 2024年11月17日(日)～20日(水)
会場 北九州国際会議場
ホームページ <https://orbit-cs.net/accs2024/>
連絡先 〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1 九
州工業大学大学院工学研究院 物質工学研究系 清水陽一
〔電話：093-884-3323, E-mail：shims@che.kyutech.ac.jp〕

「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第12号に分析化学討論会特集号として、分析化学討論会の討論主題に関連した論文を掲載しております。第84回分析化学討論会では、「文化財をはかる、なおす、まもる分析化学」、「環境調和・資源循環型社会の創生と分析化学」、「ものづくりを支える分析化学」、「宇宙と分析化学」、「生命の活動を知る分析化学」の5テーマを討論主題として取り上げました。

2024年度の分析化学討論会特集号では、生成AIと一緒に考え、5つの討論主題を「フロンティアとしての分析化学：文化財から宇宙まで」としてテーマにしました。本テーマにおいて、第84回分析化学討論会で設けた5つの討論主題に関する論文を広く募集します。多数のご投稿をお待ちしております。詳細は「分析化学」73巻4・5号及びホームページをご覧ください。

特集論文の申込締切：2024年7月12日(金)

特集論文の原稿締切：2024年8月9日(金)

「分析化学」年間特集“環”論文募集

「分析化学」編集委員会

2025年は「環」をテーマとすることと致しました。分析化学において「環」は、様々なスケールでの意味を持ちます。たとえば“環境”や“循環”のような大きなスケール、

あるいは、多環芳香族炭化水素 (PAHs) などの“環式化合物”という小さなスケールです。いずれにおいても、分析化学は重要な役割を果たしています。

本特集では「環」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集にかかわる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は、単行の特集号を除く「分析化学」第74巻(2025年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「環」にかかわる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の6号及びホームページをご参照ください。

特集論文申込締切：2024年7月21日(金) (第1期)

特集論文原稿締切：2024年8月18日(金) (第1期)

「分析化学」特集 “表示・起源分析技術の現在”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、表示・起源分析技術研究懇談会と共同で「表示・起源分析技術の現在」と題した特集を企画しました。表示・起源分析技術研究懇談会は、「分野・分析手法を横断し、起源と表示に関する分析化学的研究を行い、学問の振興及び社会における利用を図る」ことを目的として、2008年12月に設立されました。本特集では、「表示」と「起源」に、関係する論文を様々な分野から基礎・応用を問わず広く募集します。本特集を通じて、他分野からの情報収集も図っていただきたいと思っておりますので、奮ってご投稿ください。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切：2024年9月27日(金)

特集論文原稿締切：2024年11月1日(金)

初めて書く論文は母語の日本語で！ “第23回若手研究者の初論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2024年(第73巻)に第23回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

「お知らせ」欄原稿について

支部並びに研究懇談会の役員の皆様：掲載用の原稿ファイルをどうぞ電子メールでお送りください。送り先は shomu@jsac.or.jp です。原稿の長さに制限はありませんが原稿締切日は掲載月の前々月25日(例：1月号掲載→11月25日締切)となっておりますのでご注意ください。

本会外から掲載をご希望の場合は以下をご参照ください。

- 1) 掲載できるものは本会が共催、協賛、後援するものに限られます。
- 2) 国際会議につきましては共催、協賛、後援申請に関する規程並びにフォームがありますので、ホームページをご覧ください。また、本会事務局長宛にお問い合わせください。
- 3) 国際会議以外の講演会等に関しましては、会名、会場、主催団体名、同代表者名、開始期日、終了期日、連絡先並びに同電子メールを記載のうえ、書面でお申し出ください。
- 4) 掲載原稿の作成要領に関しましては承諾をご返事する際にお知らせします。
- 5) 本会支部または研究懇談会が共催、協賛、後援を承諾した事業につきましては、その旨をメールにお書きいただき、原稿ファイルを shomu@jsac.or.jp にお送りください。

国際会議以外の共催、協賛、後援に関する規程抜粋(共催)

8. 討論会、講演会等の共催とは、その討論会、講演会等の開催について、本会は主体性を持たず、会誌等を通じて広報活動等の援助を行う場合をいう。
9. 本会が討論会、講演会等を共催する場合は、その討論会、講演会等の主要議題が本会の専門分野と関連を持ち、本会正会員が会議の準備、運営等の委員に若干名加わることを条件とする。
10. 本会が共催する討論会、講演会等に対しては、他学協会長等の申し出によって会誌等による広報活動の援助を行う。特に理事会の承認を得て分担金を支出することがある。(後援又は協賛)
11. 討論会、講演会等の後援又は協賛とは、本会がその討論会、講演会等の開催に賛同し、後援又は協賛団体の一つとして、本会名義の使用を認める場合をいう。
12. 本会が討論会、講演会等を後援又は協賛する場合は、その討論会又は講演会が分析化学に関連を持ち、その開催が本会会員にとって有意義であることを条件とする。
13. 本会が後援又は協賛する討論会、講演会等に対しては、希望に応じ会誌等による広報活動の援助を行うことがある。

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することになりました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式 (P:印刷ページ数)(単位:円)

会員の場合: $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円)

会員外の場合: $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円)

*上記に消費税がかかります。